

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		キャリアデザインⅢ			
担当教員	渡邊 恵		実務授業の有無	なし	
対象学科	全科	対象学年	2、3年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	110（前70、後40）
授業概要、目的、授業の進め方	最終学年としての自覚を持つ。社会人になる前の心と体の準備を行う。自身の将来を考え、企業でどのように活躍していきたいかなど考える。目標を立て、そこに向かって学生時代に行うことができることを精一杯行う。				
学習目標（到達目標）	最終学年としての自覚を持ち、社会人となる人材育成を行う。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学、その他プリントなど				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～6	学校生活のルールを改めて理解する。新しいクラスの友人とコミュニケーションを図る				
7～18	就職活動の進捗状況を担任と確認する 内定者は、次の目標について考える				
19～30	実践行動学で自身を理解し、就職活動、キャリアデザインに活かす。前期の目標を立てる。				
31～40	1年生との交流を図る。				
41～46	業界に対する理解をセミナーを通して深め、モチベーションを高める				
47～52	様々なイベントをお互いに見学しあい、刺激しあう。それを自身のイベントに活かす。				
53～64	卒業制作に向けての準備を行う				
65～70	前期を振り返る。最後の学生生活であることを意識する。				
71～74	後期の動機付け、後期目標設定、シート記入				
75～78	卒業までの残りを実感し、何をすべきか考える				
79～82	業界に対する理解をセミナーを通して深め、モチベーションを高める				
83～86	学年イベント（祭事を知る）				
87～90	進級制作リハーサル見学				
91～94	卒業制作に向けての準備を行う				
95～96	年明けのスケジュール確認				
97～102	卒業制作へ向けた目標設定				
103～106	クラス交流				
107～110	学生生活の振り返り、まとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		

出席率50%、学習意欲（授業態度）50%

成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。

社会人になるまであと1年もないということを実感して、後悔のないように1回1回を大切に考えながら進めること。

実務経験教員の経歴

客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ビジネス実務 I			
担当教員	小林 美江	実務授業の有無	○		
対象学科	全科	対象学年	2・3年	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1. ビジネスシーンにおいて正確・迅速な文書が書けるよう、事務処理能力の基本的な事項を学習する。 2. 過去問題を多用し、試験内容を解く上でのテクニックも学習する。				
学習目標 (到達目標)	ビジネス文書検定3級 取得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	早稲田教育出版 ビジネス文書検定3級 受験ガイド・実問題集				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1 2	ビジネス文書が果たす重要な役割 文書作成技能が求められる理由 ビジネス文書の現代表記 常用漢字表と現代表記	講義 問題を解く→解説			
3 4	表記技能：総合 用字 用語 書式	講義 問題を解く→解説			
5 6	用字・用語テスト 表現技能：正確な文章 分かりやすい文章	テスト→解答			
7 8	表記技能テスト 表現技能：礼儀正しい文章	テスト→解答・解説 講義			
9 10	実務技能：社内文章	講義 問題を解く→解説			
11 12	実務技能：社外文書	講義 問題を解く→解説			
13 14	実務技能：文書の取り扱い	講義 問題を解く→解説			
15 16	実務技能テスト テキスト実践問題	テスト→解答・解説			
17 18	過去問題63回テスト	テスト→解答・解説			
19 20	過去問題62回テスト	テスト→解答・解説			
21 22	過去問題61回テスト	テスト→解答・解説			
23 24	過去問題60回テスト	テスト→解答・解説			
25 26	過去問題59回テスト	テスト→解答・解説			
27 28	過去問題58回テスト	テスト→解答・解説			
29 30	過去問題57回テスト	テスト→解答・解説			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
模擬試験70%、学習意欲30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		模擬問題を受けた後、出来ていない問題を中心に復習を行うようにすること。			

実務経験教員の経歴

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ビジネス実務Ⅱ			
担当教員	小林 美江		実務授業の有無	○	
対象学科	全科	対象学年	2・3年	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	<p>1. 実社会での仕事は、自分自身、社会の人、お客様、取引先といった周囲の人と関わりの中で進んでいることを認識する為、ビジネスマナーを習得する。</p> <p>2. 机上の学習だけでなくロールプレイングを多用し、日常生活でも実践できるよう図る。</p>				
学習目標 (到達目標)	会社組織のしくみと人間関係、来客対応、電話対応、訪問のマナー				
テキスト・教材・ 参考図書・その他 資料	プリント対応				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	社会人としての心構え 職場での基本的マナー 職場の人間関係		講義 グループワーク		
3 4	来客対応：接遇の意義と重要性 受付対応の基本用語 名刺の受け取り方		講義 ロールプレイング		
5 6	案内の要領：廊下 エレベーター 応接		講義 ロールプレイング		
7 8	お茶の出し方 見送り 応接の管理		講義 小テスト		
9 10	電話対応：注意点 受け方の基本 電話対応基本用語		講義 ロールプレイング		
11 12	対応電話：伝言メモの作成 電話のかけ方		講義 ロールプレイング		
13 14	電話対応テスト		ロールプレイング形式		
15 16	訪問のマナー：訪問の準備 交通手段に関する知識 応接室でのマナー		講義 ロールプレイング		
17 18	自宅への訪問の心構え テスト準備		講義		
19 20	まとめテスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
模擬試験70%、学習意欲30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			各自ロールプレイングを何度も行うことで、体得するよう心掛ける。		
実務経験教員の経歴					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	業界セミナー				
担当教員	高橋 香織		実務授業の有無	○	
対象学科	全学科	対象学年	全学年	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	第一線で活躍している業界人からの講演会				
学習目標 (到達目標)	自分の目標を定める。視野を広げる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	特になし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	新入生、進級生別自己啓発講演会		プロジェクター、振り返りシート		
2					
3					
4	学科、コース別一流業界人講演会		プロジェクター、振り返りシート		
5					
6					
7	全校統一講演会 未来を考える		プロジェクター、振り返りシート		
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50%、学習意欲50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			普段会えない人の話を聴き、視野を広げましょう。		
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		実践行動学Ⅱ			
担当教員	渡邊 恵		実務授業の有無	○	
対象学科	全科	対象学年	卒年次生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	5
授業概要、目的、授業の進め方	1. 実践行動学Ⅰで学習した内容を踏まえ、1年間の振り返りを行う 2. 働くことへの意識を気付き→認識→一般化→応用という手法をとり入れ、個人作業・ディスカッションなどを通じて理解を深める				
学習目標 (到達目標)	社会人へでの準備→2年後の目標→ライフプランへと段階を経て、将来の自分を具現化させる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学研究所 実践行動学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	パート3	マジックドア1 入学から今日までの成長を実感する	個人作業・グループディスカッション		
2	パート3	マジックドア2 働く自分をイメージしてみよう	個人作業・グループディスカッション		
3	パート3	マジックドア3 自分が最大限に生きる働き方とは	個人作業・グループディスカッション		
4	パート3	マジックドア4 将来を描いてみよう	個人作業・グループディスカッション		
5	パート3	マジックドア5 夢実現への第一歩を踏み出そう	個人作業・グループディスカッション		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			就職直後、数年後、未来・・・の目標を描かせることで、ポジティブな気持ちを継続させる。		
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅲ				
担当教員	小林 美江		実務授業の有無	×	
対象学科	全科	対象学年	2・3年	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	データ入力、表計算、グラフ作成、データベース検索のスキルを学び、EXCEL検定初級を受検する。				
学習目標 (到達目標)	サーティファイ エクセル文書処理能力検定3級 合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	サーティファイ EXCEL2016クイックマスター基本編 エクセル文書処理能力検定3級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2 3	エクセルの基本 データの編集 表の編集		実習		
4 5 6	ブックの印刷 グラフと図形の作成 ブックの利用と管理		実習		
7 8 9	関数 データベース機能		実習		
10 11 12	練習問題 1		実習		
13 14 15	練習問題 2 3		実習		
16 17 18	模擬問題 1 2		実習		
19 20 21	模擬問題 3 4		実習		
22 23 24	模擬問題 5 6		実習		
25 26	模擬問題 7 苦手箇所の練習		実習		
27 28	サンプル問題 事前対策		実習		
29 30	エクセル検定3級受検				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70% 学習意欲10% 検定合格20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			復習をメインに模擬問題を確実なものにすることで、検定合格に結びつく為、モチベーションをキープするよう考慮する。		
実務経験教員の経歴					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	料飲サービスⅢ（演習）				
担当教員	村瀬 孝		実務授業の有無	なし	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	今までの復習を行い、さらに高度な技術を身につける。				
学習目標（到達目標）	前期技術がしっかりと身につけている。インターンシップで学んだサービスを振り返る。更に高度な技術を実践を交えて身につける。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	インターンシップ経験確認と前期技術の振り返り				
3、4	テーブルサービスの形態を実践で学ぶ		ロシア式、フランス式、イギリス式、アメリカ式		
5、6	スープチュリーン、ワイン抜栓を実践で学ぶ				
7、8	テーブルクロスの敷き方、畳み方等実践で学ぶ				
9、10	フルコースのテーブルセッティングを実践で学ぶ 確認テスト		前菜、スープ、魚、肉、水、シャンパン、白ワイン、赤ワイン		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			様々な技術がある中の基本的なものが自身に身につけているかどうか確認をしてください。細かいことのようにも、それを実践することがお客様のためになっているということも実感してほしいです。		
実務経験教員の経歴		ホテルの現場で9年間携わった			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	フューネラルビジネス				
担当教員	馬場 秀憲		実務授業の有無	○	
対象学科	全科	対象学年	卒年次生	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	5
授業概要、目的、授業の進め方	1、社会に出たときに知っておくべき葬儀の一般的な参列マナーや社会常識を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	確認テスト				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	レジュメ作成				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	葬祭を取り巻く環境（死亡者数増加～遺族の要望の多様化）を知る		パワポで説明。レジュメを配布。		
2	葬儀の一般的な流れと最近の葬儀スタイルを知る		パワポで説明。レジュメを配布。		
3	香典の表書きの意味と内容を知る		パワポで説明。レジュメを配布。		
4	通夜・葬儀に参列するときのマナーを知る		パワポで説明。レジュメを配布。		
5	確認テスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
テスト80%、出欠席20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			葬儀の業界用語は専門用語が多いため、かみくだいた表現で説明しなければならない。社会に出たときに知っておくべき一般常識の範囲を伝える。		
実務経験教員の経歴		葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	イベントプロデュースⅢ				
担当教員	渡邊 恵		実務授業の有無	○	
対象学科	ホテル・ブライダル科/国際ホテル科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	135
授業概要、目的、授業の進め方	イベントを通して、プランニング力、プレゼン力、チームワークなど実践を通して身につけ、イベントを実施する				
学習目標 (到達目標)	他者に対してプレゼンテーションを行い、評価をしてもらう				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	説明、過去の映像をみて、イメージを作る				
3~6	伝えたい想い、自分たちの感じたい想いを考え、共有する				
7~10	内容検討、必要担当案だし				
11~14	担当決定				
15~18	テーマ検討、決定				
19~22	イメージカラー、ワード検討				
23~26	内容検討				
27~30	内容検討				
31~34	内容決定				
35~38	練習&試作、作成物試作				
39~42	練習&試作、作成物試作				
43~46	練習&試作、作成物試作				
47~50	練習&試作、作成物試作				
51~54	練習&試作、作成物試作				
55~58	練習&試作、作成物試作				
59~62	練習&試作、作成物試作				
63~66	練習&試作、作成物試作				
67~70	練習&試作、作成物試作				
71~74	作成物完成				

75~78	リハーサル、修正	
79~84	リハーサル、修正	
85~90	リハーサル、修正	
91~96	リハーサル、修正	
97~102	全体通しリハーサル	
103~108	全体通しリハーサル	
109~114	全体通しリハーサル	
115~120	全体通しリハーサル	
121~126	全体通しリハーサル	
127~132	本番	
133~135	片付け、振り返り	
評価方法・成績評価基準		履修上の注意
<p>イベント実施30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。</p>		<p>当日来てくれる高校生のことをしっかりと考え、想像し、何を伝えたいのか、どのように感じてほしいのかの意見を出し合い、共有します。自己満足にならずに、ホスピタリティ精神をもって準備に取り組んでください。もちろん、自分たち自身が一生懸命取り組み、楽しみ、達成感を感じ、感動できることが大切です。</p>
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	TOEICⅢ (Listening)				
担当教員	藤田 愛子		実務授業の有無	×	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	3年	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	<p>2年次にも学習した範囲であるが、最高点を取るためにも今一度復習を兼ねながら発展的な問題や表現に取り組む。TOEICの発展問題を解きながら、650点を目標とする。ビジネスシーンで活かせる表現や発音の習得をする。</p> <p>1、スピードになれる。リンキングを耳にならす。</p> <p>2、良く出題される単語や熟語の暗記や実際に自分で英文を読み上げる</p>				
学習目標 (到達目標)	TOEICの基本を知り、650点を目標とする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	TOEIC L&R TEST対策 650点コース (TAC)				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～8	Part1 写真描写問題 問題形式を把握する		CDを使いながら問題を解き、解説する P45～		
9～16	Part2 First Speakerの発音のタイプを知ろう		CDを使いながら問題を解き、解説する P57～		
17～22	Part3 会話問題		CDを使いながら問題を解き、解説する P69～		
23～28	Part4 説明文問題		CDを使いながら問題を解き、解説する P81～		
29 30	期末テスト		過去問題にチャレンジ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
<p>Listening定期試験80%、学習意欲20%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>			<p>TOEICの基本は各自復習をさせるべきで、時間をかけないように進める。発展的な問題を解くためのテクニックや弱点を改善させるために時間を取るようになる。</p>		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	TOEICⅢ (Reading)				
担当教員	藤田 愛子		実務授業の有無	×	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	3年	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	<p>2年次にも学習した範囲であるが、最高点を取るためにも今一度復習を兼ねながら発展的な問題や表現に取り組む。TOEICの発展問題を解きながら、650点を目標とする。ビジネスシーンで活かせる表現や発音の習得をする。</p> <p>1、Part5で得点をあげるために、単語ごとに品詞の理解をする。</p> <p>2、良く出題される単語や熟語の暗記や実際に自分で英文を読み上げる</p>				
学習目標 (到達目標)	TOEICの基本を知り、650点を目標とする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	TOEIC L&R TEST対策 650点コース (TAC)				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1～20	Part5 問題形式を把握しよう 時制 自動詞・他動詞 分詞など			問題集の問題を中心に解いて、解説する P95～	
21～24	Part6 特に出やすい文法項目をおさえよう 動詞の語形変化			問題集の問題を中心に解いて、解説する P163～	
25～28	Part7 解答の手順を理解し、テクニックを知る			問題集の問題を中心に解いて、解説する P177～	
29 30	期末テスト			過去問題にチャレンジ	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
<p>Reading定期試験80%、学習意欲20%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>				<p>TOEICの基本は各自復習をさせるべきで、時間をかけないように進める。発展的な問題を解くためのテクニックや弱点を改善させるために時間を取るようにする。</p>	
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	English Expression III				
担当教員	藤田 愛子		実務授業の有無	×	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	3年	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	80
授業概要、目的、授業の進め方	課題を決め、英語でのプレゼンテーションを行う授業 プレゼンテーションコンテスト 本選出場を目指す ①3つの課題からひとつに絞るための調べ学習・訪問聞き取りを行う、ディスカッション ②日本語での企画書作成・台本作成 ③英文でのプレゼン作成・パワーポイント作成 ④プレゼンをいろいろな立場の人に聞いてもらい評価をもらう				
学習目標 (到達目標)	プレゼンテーションコンテスト 本選出場 (150校中5校に選ばれる)				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1~10	過去のテーマから傾向や必要なデータを共有する 調べ学習		PCを使用し、各団体や企業のHPを参考に進める		
11~13	各自のプレゼン① 問題点・疑問点				
14~16	大会のプレゼンテーマの発表を受けて、内容を理解する				
17~20	ひとりずつテーマを決め、基礎データ・材料を集める				
21~27	各自のプレゼン② 調べ学習 テーマ決定				
28~33	企画書の作成・台本を日本語で作成する				
34~37	日本語での台本をチェック・データの調査				
38~39	パワーポイントイメージを作成				
40~50	英語への翻訳や予選への準備開始・パワーポイント準備				
51~60	英語表現の強化・暗記・ユニークな演出・話題				
61~80	プレゼン練習				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			はじめての挑戦のため、しっかりとしたスケジュールをたて臨む。テーマのプロから話を聞き、理解を深める工夫が必要。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	卒業制作				
担当教員	渡邊 恵		実務授業の有無	○	
対象学科	全科	対象学年	2、3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	135
授業概要、目的、授業の進め方	業界が持つ、課題等を見つけ、それに対する企画を考え、提案していく。] イベントを通して、学年全体のつながりや、プランニング力、プレゼン力、チームワークなど実践を通して身につけ、イベントを実施する				
学習目標 (到達目標)	卒業制作を企業、保護者へ提案する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	先輩方の卒業制作を見て、自分たちの姿を想像する				
3~6	自分たちの卒業制作をどうしていくか、一人ひとり考える				
7~10	卒業制作にふさわしいと思うテーマについて、グループに分かれて考える				
11~14	各グループごとに、テーマにふさわしいと思う内容をパワポで発表する。卒業制作のテーマの希望を取る				
15~18	卒業制作のテーマと新グループを発表し、これからのスケジュールを伝える				
19~22	各グループで、テーマに沿った現状や取り組みを調査する				
23~26	各グループで、調査した現状をふまえ、企画を考える				
27~30	第1回 企画発表会+報告書チェック				
31~34	発表内容と報告書の修正				
35~38	企業や団体などをリストアップし、現状や取り組みについてのアンケートや調査を行う				
39~42	第2回 企画発表会+報告書チェック				
43~46	発表内容と報告書の修正② 実行委員は招待状+招待客リストアップ、タイトルとロゴ作成				
47~50	中間発表会の準備 (台本+パワポ)				
51~54	中間発表会 (各グループの発表内容を共有する)				
55~58	年明けのスケジュールや進め方 (新グループ、メンバー) を全体で共有する				
59~62	各グループは報告書完成させる。当日の会場装飾の準備を始める 実行委員は招待客のリストを作成する				
63~66	当日の発表に必要な台本+パワポを作成する				
67~70	当日の会場で、本番のイメージをつかむ				
71~74	台本+パワポの修正。完成。				

75~78	台本見ながら全体リハーサルを行い、他のグループ発表を聞いて、卒制全体のイメージをつかむ	
79~84	全体リハーサルの準備を始める（台本とパワポのタイミングを合わせる）	
85~90	企業の方に企画や発表を見ていただき、内容をより精査する 全体リハーサルの準備を行う（前後のつながりを考える）	
91~96	全体リハーサルを行い、卒制全体の流れを一人ひとりがつかむ	
97~102	全体リハーサルの準備を行う（聞いている人に伝わる話し方を意識しよう）	
103~108	全体リハーサル（本番をイメージしながら）	
109~114	全体リハーサル（本番をイメージしながら）	
115~120	1年生本番⇒振り返り、修正	
121~126	新入生本番⇒振り返り、修正	
127~132	企業、保護者本番	
133~135	振り返り（個人シート、グループ、実行委員他）	
評価方法・成績評価基準		履修上の注意
<p>卒制実施30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。</p>		<p>業界の現状を調査し、課題を見つけ、それに対する提案を考えていきます。すべてのことに意味があり、どのように自分たちでつなげていくのか考え抜いてください。企業側がアツと驚くような学生ならではの大切にしてください。学年全体で実施する最後のイベントです。悔いのないように、取り組み、成功、達成感、感動してほしいです。</p>
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ブライダル総論Ⅱ						
担当教員	武田 奈々		実務授業の有無	○				
対象学科	国際ホテル科/ホテル・ブライダル科	対象学年	2・3年	開講時期	通年			
必修・選択	選択	単位数		時間数	70			
授業概要、目的、授業の進め方	1、ブライダル・コーディネーター技能検定について理解する 2、日本と欧米の結婚式について歴史と文化を理解する 3、ブライダルビジネスについて理解する 4、ブライダルの基礎的知識について理解する							
学習目標 (到達目標)	検定出題傾向について理解し、暗記する。知識だけではなく、職業観を意識させていく。							
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ブライダル・コーディネーターテキストスタンダード ブライダル用語辞典							
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考					
1. 2	・ブライダル・コーディネーター検定を理解する ・Lesson1第1章結婚の定義（重要ポイントのライン引きと理解）		教科書のライン引きと解説					
3. 4	・Lesson1第2章 日本の結婚式：歴史と文化（重要ポイントのライン引きと理解）		↓					
5. 6	・Lesson1第3章 欧米の結婚式：歴史と文化（重要ポイントのライン引きと理解）							
7. 8	Lesson2 ブライダルビジネス（第一章～第六章）							
9. 10	Lesson3 ブライダルの基礎 第一章 （重要ポイントのライン引きと理解）							
11. 12	Lesson3 ブライダルの基礎 第二章 （重要ポイントのライン引きと理解）							
13. 14	Lesson3 ブライダルの基礎 第三・四章 （重要ポイントのライン引きと理解）							
15. 16	Lesson3 ブライダルの基礎 第五・六・七章 （重要ポイントのライン引きと理解）							
17. 18	Lesson3 ブライダルの基礎 第八・九・十・十一章 （重要ポイントのライン引きと理解）							
19. 20	前期テスト実施					テスト		
21~24	lesson4解説と過去問題実施					教科書のライン引きと解説		
25~28	lesson5解説と過去問題実施		↓					
29~32	lesson6解説と過去問題実施							
33~36	lesson6解説と過去問題実施							
37~40	lesson7/8解説と過去問題実施							
41~44	過去問題実施と解答解説		テスト実施					
45~48	過去問題実施と解答解説							
49~52	過去問題実施と解答解説							
53~56	過去問題実施と解答解説							

57~60	実技試験対策	
61~70	練習問題実施	↓
評価方法・成績評価基準		履修上の注意
<p>出席率50%、授業態度10%、学科テスト40%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>		<p>重要ポイントのライン引きをしっかりと学習して暗記すること。検定の出題傾向について理解すること。</p>
実務経験教員の経歴		バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	旅行地理				
担当教員	渡邊 恵		実務授業の有無	なし	
対象学科	国際ホテル科/ホテル・ブライダル科	対象学年	2・3年	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	55 (前20、後35)
授業概要、目的、授業の進め方	前期は日本。後期は海外に目を向けて調査、共有を行っていく。前期・後期の終わりに旅行プランの発表を行い、理解度と興味度、プレゼンテーション能力を見ていく。 将来、ホテルスタッフになったときに、その知識がお客様へ還元できるように勤めていく。				
学習目標 (到達目標)	国内外の国々の地理を理解し、その国の文化や観光地などについて知り、ホテルにお越しになった外国人のお客様との会話に活かす、				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料、旅行会社のパンフレット				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	日本の地理関係を学ぶ 日本の面積、人口、気候、治安と他国との比較		配布資料		
3、4	日本の観光地を研究する（観光地、料理、名産品など）		各自、各地方に分かれて調査を行う		
5、6	日本の観光地を研究する（観光地、料理、名産品など）				
7、8	グループ内発表⇒共有				
9、10	日本の観光地を研究する（観光地、料理、名産品など）				
11、12	日本の観光地を研究する（観光地、料理、名産品など）				
13、14	グループ内発表⇒共有				
15、16	旅行プラン作成		PPIにて作成		
17、18	旅行プラン作成				
19、20	発表、振り返り				
21、22	世界の国々の地理関係を学ぶ		配布資料		
23、24	ヨーロッパ各国、日本との比較（面積、人口、時差、気候、治安など）				
25、26	旅行会社のヨーロッパパンフレットを研究する		旅行会社のヨーロッパパンフレット		
27、28	ヨーロッパのホテルタイプを知る（アメリカン、ヨーロッパアン）				
29、30	各国を研究する （イギリスの観光ポイント、スポット、料理等）				
31、32	各国を研究する （ドイツの観光ポイント、スポット、料理等）				
33、34	各国を研究する （フランスの観光ポイント、スポット、料理等）				
35、36	各国を研究する （スイスの観光ポイント、スポット、料理等）				
37、38	各国を研究する （オーストリアの観光ポイント、スポット、料理等）				

39、40	各国を研究する (イタリアの観光ポイント、スポット、料理等)	
41、42	各国を研究する (スペインの観光ポイント、スポット、料理等)	
43、44	各自のコース選定、コース作成	
45、46	旅行プラン作成	PPIにて作成
47、48	旅行プラン作成	
49、50	旅行プラン作成	
51、52	発表	
53～55	振り返り	
評価方法・成績評価基準		履修上の注意
<p>定期テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。</p>		<p>日本の魅力はもちろん、海外の魅力を学び、世界は様々な方々がいて、その魅力が何なのかを知ってください。そうすることで、世界の広さや日本の重要性を理解できるはずです。それを、接客に活かしてください。</p>
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		宿泊実務Ⅱ			
担当教員		村瀬 孝		実務授業の有無	○
対象学科	国際ホテル科/ホテル・ブライダル科	対象学年	2・3年	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	50
授業概要、目的、授業の進め方	1. 1年次で学んだフロント・サービスの基礎知識の復習とフロント・オフィスの業務内容を理解する。				
学習目標 (到達目標)	1. 宿泊関連業務を理解し、実践的な実務を可能にする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ホテルテキスト 宿泊Ⅰ&Ⅱ フロント・サービス編、フロント・オフィス編				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1~5	フロント・サービスの仕事（ドアマン、ベルマンの仕事内容）		フロント・サービス編、教科書P2~36		
6.7	フロント・オフィスとは		フロント・オフィス編、教科書P2~10		
8.9	リザーベーション業務		フロント・オフィス編、教科書P14~25		
10.11	リザーベーション業務		フロント・オフィス編、教科書P25~30		
12.13	レセプション業務		フロント・オフィス編、教科書P31~34		
14.15	レセプション業務		フロント・オフィス編、教科書P31~34		
16~19	フロント研修（ホテルイタリア軒にて実践研修）		各グループに分かれてホテルにて研修		
20~26	フロント研修（ホテルイタリア軒にて実践研修）		↓		
27~33	フロント研修（ホテルイタリア軒にて実践研修）				
34~40	フロント研修（ホテルイタリア軒にて実践研修）				
41	前期テストを実施				
42.43	レセプション業務実践		フロント・オフィス編、教科書P62~72		
44.45	フロントキャッシャー業務		フロント・オフィス編、教科書P72~79		
46.47	フロントキャッシャー業務		フロント・オフィス編、教科書P80~89		
48.49	インフォメーション業務		フロント・オフィス編、教科書P91~98		
50	後期テスト実施		テスト		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率20% 授業態度10% 試験50%、レポート20%			ホテルイタリア軒でのフロント研修を受け、フロント業務、ハウスキーピング、営業企画の業務内容を理解する。		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					

実務経験教員の経歴

ホテルの現場で9年間、携わった。

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	国際文化理解				
担当教員	村瀬 孝	実務授業の有無	なし		
対象学科	国際ホテル科/ホテル・ブライダル科	対象学年	2・3年	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	インバウンドでいらっしゃる方が増えている現在、その中心の現場で働くホテルスタッフがその政策の成り立ちや各国の行事や国民性、宗教などについて学ぶことは大変重要だと考える。それを座学を中心に学んでいく。				
学習目標 (到達目標)	日本と海外諸国との関係性。日本政府の海外政策などを学ぶ。また、海外の宗教や国民性、行事などの理解を深める。宗教的な食事の禁忌なども学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料、PPプレゼン				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1、2	インバウンドの概況について学ぶ				
3、4	日本の政策とこの先の状況、目標について学ぶ				
5、6	各国のデータ、目的の詳細を学ぶ				
7、8	宗教の基本的な知識や禁忌などについて学ぶ				
9、10	インバウンドのホテル受け入れ、海外での働き方について学ぶ				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
<p>確認テスト50%、出席率30%、学習意欲（授業態度）20%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。</p>		<p>海外に関して関心を持ち、各国からいらっしゃるお客様のことを理解すること。そして、喜んでいただくためにはどのようなことに注意が必要かを学び、接客に活かしてほしいとかがえています。</p>			
実務経験教員の経歴	ホテルの現場で9年間、携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ホテル英会話			
担当教員	村瀬 孝	実務授業の有無	なし		
対象学科	国際ホテル科/ホテル・ブライダル科	対象学年	2・3年	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1. 外国人と話すことに慣れる。英会話の楽しさを知り、表現を多く身につける。				
学習目標 (到達目標)	1. 接客業界への就職が主なので、外国人への接客用語や日常会話が理解できるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Interchange 4th				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1.2	簡単な自己紹介を英作文を作る。	テキストに沿って進める			
3.4	必要な文法・単語・発音を学ぶ。				
5.6	連音の発音方法や数字、電話やEメールの表現を学ぶ。				
7.8	基本文型と人称代名詞に書き換えを学ぶ。				
9.10	ペアワークで発音練習を行う。				
11.12	リスニングで聞き取ることができ、書ける。				
13.14	必要な文法・単語・発音を学ぶ。				
15.16	前期試験	テスト実施			
17.18	5W2Hの表現復習	テキストに沿って進める			
19.2	基本文、疑問文、否定文を学ぶ。				
21.22	前置詞の理解と前置詞を使っての表現ができる。				
23.24	前置詞+ing の表現を学ぶ。				
25.26	主語の違いによる正しい文を作ることができる。				
27.28	期末テスト対策				
29.30	期末テスト	テスト実施			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度40% 試験60%					
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		テキストを中心に学び、単語テストも適宜行う。			
実務経験教員の経歴	ホテルの現場で9年間、携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ホテルマネジメント			
担当教員	村瀬 孝	実務授業の有無	なし		
対象学科	国際ホテル科/ホテル・ブライダル科	対象学年	2・3年	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1. ホテル業界の現況・時事を把握するとともに、ビジネスとしてのホテルを理解する。				
学習目標 (到達目標)	1. ホテル業界・宿泊産業の動向・時事を事例研究の中で把握・理解する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	適宜、レジュメ資料を配布				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1. 2	ガイダンス(ホテル業界動向)	レジュメ資料を配布し、重点ポイントを説明			
3. 4	ホテルリサーチ・事例研究(シティホテル・チェーンホテル)				
5. 6	ホテルリサーチ・事例研究(リゾートホテル・旅館)				
7. 8	ホテルリサーチ・事例研究(宿泊特化型・ホステル)				
9. 1	ホテルにおけるマネジメントとは(人・もの・カネ・情報の管理)				
11. 12	計数管理の理解(売上、分析)				
13. 14	計数管理の理解(原価計算、コントロール)				
15. 16	計数管理の理解(人件費のコントロール、その他のコスト、P/Lの理解)				
17. 18	人におけるマネジメントの理解(人事・労務関連)				
19. 20	前期課題/まとめ				
21. 22	ホテルマーケティング概論				
23. 24	演習(ホテル開業計画) 市場分析、コンセプトメイキング、施設概要				
25. 26	演習(ホテル開業計画) 商品企画、価格設定				
27. 28	演習(ホテル開業計画) 収支計画、オペレーションP/L作成				
29. 30	振り返り・後期まとめ/業界動向/キャリアプランニング				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率40% 授業態度10% 課題50%		ホテルでの就業において近い将来的に必要となるマネジメントについて、その考え方、手法を学び理解していく。			
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					

実務経験教員の経歴

ホテルの現場で9年間、携わった。

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ビバレッジビジネス			
担当教員	渡邊 恵		実務授業の有無	なし	
対象学科	国際ホテル科/ホテル・ブライダル科	対象学年	2・3年	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	30(前22、後8)
授業概要、目的、授業の進め方	酒類やカクテルの作成技術を座学、実技を交えながら学んでいく。 また、自身の道具やバーカウンターの整備、整頓方法や経費に関する基本的なビバレッジビジネスについて学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	基本的なお酒の知識や調酒技術の習得。サービスの在り方について考える力を養う。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	動機付け、バーツール配布。備品の紹介				
3、4	酒類概論『お酒とは』 バーツールの扱い方、洗いかた、片づけ方				
5、6	ビバレッジビジネスとは 基本動作の練習、バーカウンターの整理・整頓の仕方と重要性				
7、8	カクテル概論『技法、種類』 基本動作の練習				
9、10	醸造酒①『ワイン』 基本動作の練習				
11、12	醸造酒②『ビール』 基本動作の練習、ジントニック作成				
13、14	醸造酒③『日本酒』 シェイクの練習				
15、16	蒸留酒『スピリッツ』『ウイスキー』 シェイクの練習、バラライカ作成				
17、18	混成酒、副材料『リキュール』 シェイクの練習、グラスホッパー作成				
19、20	デコレーションについて シェイクの練習、ブルーハワイ作成				
21、22	確認テスト(筆記試験)、サービスについて、前期のまとめ				
23、24	前期振り返り シェイクの練習、テキーラサンライズ、ガルフストリーム作成				
25、26	基本テクニックとシェイクの練習 雪国、モヒート作成				
27、28	ウイスキーの提供の仕方について ウイスキーハイボール作成				
29、30	オリジナルカクテル発表会 授業全体のまとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
確認テスト30%、出席率40%、学習意欲(授業態度)30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			シェイクの技術だけでなく、ビバレッジビジネスについてもしっかりと学びましょう。それが、現場に出たときに、すぐに役立つことになるということを理解することが重要です。		

実務経験教員の経歴

客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		サービステクニク			
担当教員	渡邊 恵		実務授業の有無	なし	
対象学科	国際ホテル科/ホテル・ブライダル科	対象学年	2・3年	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	35 (前23、後12)
授業概要、目的、授業の進め方	ロシアンサービスを実技を通して学んでいきます。様々な食材の知識、そして経費についても意識しながら技術を習得していきます。さらには、その技術がイベントやサービスコンクールへつながるよう意識づけしていきます。				
学習目標 (到達目標)	ロシアンサービス (ゲリドンサービス) の技術を食材を使い、実技を通して学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料、ナイフ等				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	ゲリドンサービスの魅力を伝え、動機付けを行う。 オレンジカービングを行う		過去のサービスコンクール動画		
3、4	オレンジ&キウイカービング				
5、6	オレンジ&レモンカービング チェリージュビレ (3~4名ずつ実施)				
7、8	キウイ&グレープフルーツカービング チェリージュビレ (3~4名ずつ実施)				
9、10	リンゴのカービング チェリージュビレ (3~4名ずつ実施)				
11、12	パイナップルのカービング チェリージュビレ (3~4名ずつ実施)				
13、14	フルーツデコレーション チェリージュビレ (3~4名ずつ実施)		イチゴ、リンゴ、キウイの飾り切りとソースの盛り付け方法		
15、16	サラダの作成 チェリージュビレ (3~4名ずつ実施)				
17、18	ドレッシングの作成、サラダの作成 チェリージュビレ (3~4名ずつ実施)				
19、20	オリジナルディッシュ作成のための練習				
21~23	確認テスト (オリジナルディッシュ作成)				
24、25	前期技術振り返り (オレンジカービング) サービスコンクール学内選考会の動機付け				
26、27	カービング練習&シェイク練習				
28、29	カービング練習&シェイク練習				
30、31	カービング練習&シェイク練習 (確認テスト含む)				
32、33	学内選考会				
34、35	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
			ロシアンサービス (ゲリドンサービス) の技術をナイフ等を使って身		

確認テスト30%、出席率40%、字皆意欲（授業態度）30%

成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。

につけていきましょう。様々な食材によってナイフの扱い方は変わります。それを、実際に食材に触れることで体験してください。客前でを行うことを前提に所作や身のこなしも大切です。そして、学内選考は全員で取り組み、コンクール出場の有無にかかわらず外部審査員（市内ホテル）の方々に見ていただき、自身の成長を評価していただきましょう。

実務経験教員の経歴

客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	表現技法				
担当教員	渡邊 恵		実務授業の有無	なし	
対象学科	国際ホテル科/ホテル・ブライダル科	対象学年	2・3年	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	実際に料飲サービスの現場で、料理が『おいしい』だけでなく、様々な表現でお客様においしさや味を伝えられるようになるために、表現法を学び、実際に説明文におこし、伝えるように話しながら授業を進めていく。				
学習目標 (到達目標)	食べ物のおいしさを伝える。表現法を学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	発声、活舌トレーニング。7つの接客応対用語。おいしさを伝えるキーワードは何か伝え、実際に題材を元に文章作りを行う。		配布資料		
3、4	発声、活舌トレーニング。7つの接客応対用語。五感を用いた表現を学び、実際に題材を元に文章作りを行う。		配布資料		
5、6	発声、活舌トレーニング。魅力的な話し方、表現の仕方、いかに引き付けるかを学ぶ。五感+こだわりで題材のおいしさを伝えることを目的として文章作りを行う。		配布資料		
7、8	実際の発行物（食べ物のおいしさを伝えている）を元に、題材の写真を見ながら、読み手をそそるような文章作りを行う。		配布資料		
9、10	確認テスト。自身が選択した写真について、お客様がそそられるような説明を実技を通して発表する。				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
確認テスト50%、出席率30%、学習意欲（授業態度）20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			食に関して関心を持ち、お客様に喜んでいただくためにはどのような表現をするとよいのかを深く考え、文章に起こす、それを伝えるように話すということを目的にしてください。言葉のボキャブラリーも増やせるよう取り組んでください。		
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		バンケットサービス			
担当教員	武田 奈々	実務授業の有無	○		
対象学科	国際ホテル科/ホテル・ブライダル科	対象学年	2・3年	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1、入場前説明、入場先導が出来るようになる 2、ケーキ入刀説明と実践が出来るようになる 3、実技テストに合格しキャプテン業務を習得する				
学習目標 (到達目標)	ご結婚披露宴のキャプテン業務（入場前説明、入場先導、ケーキ入刀説明）ができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	進行台本資料				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1. 2. 3	披露宴会場のレイアウト作成できる	実務			
4. 5. 6	入場前説明と先導ができる	実習			
7. 8. 9	来賓のマイクアテンドができる				
10. 11. 12	ケーキ入刀説明と実践ができる				
13. 14. 15	入場～ケーキ入刀まで台本を見ずに一通りの実践ができる				
16. 17. 18. 19	入場～ケーキ入刀まで台本を見ずに一通りの実践ができる				
20. 21. 22. 23	前半メンバー実技テストに合格をする。振り返りレポートを書く。				
24. 25. 26. 27	後半メンバー実技テストに合格をする。振り返りレポートを書く。				
28. 29. 30	授業の振り返り	実務			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率70%、授業態度10%、実技テスト20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		バンケットキャプテンを認識して実習に臨むこと。積極的に取り組むこと。職業を意識した身だしなみを心がけること。			
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる				